

2. 調査結果について

(6) コロナ禍で起こっている問題に関すること

<ここでは、次のようなことがわかります>

- ・ 回答者が認識している「コロナ下での町内会活動で起こっている問題」 等

2. 調査結果について

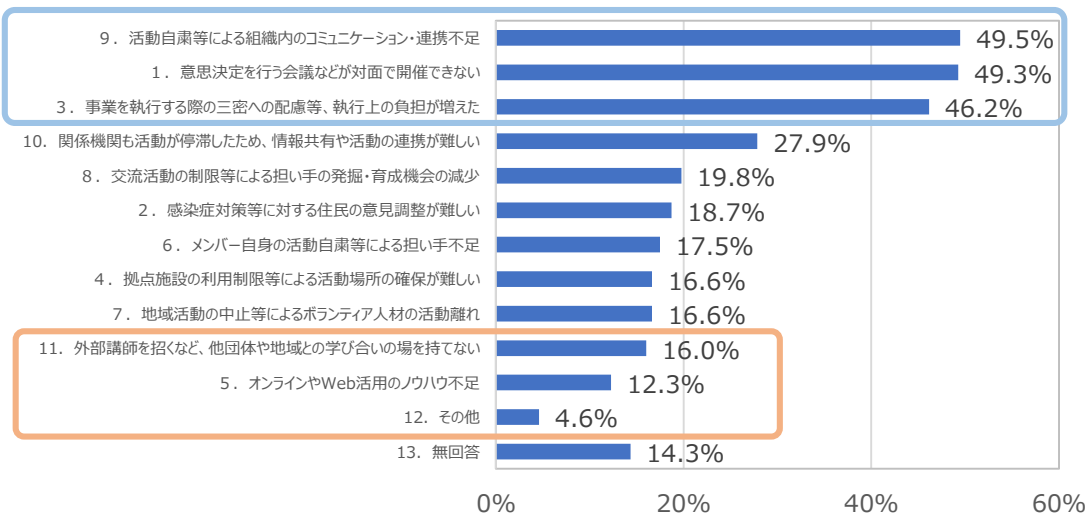
(6) コロナ禍で起こっている問題に関すること

〈問24〉 コロナ禍での町内会活動で起こっている問題について、番号をすべて記入してください。

〈回答結果〉

項目	回答数	%
1. 意思決定を行う会議などが対面で開催できない	237	49.3%
2. 感染症対策等に対する住民の意見調整が難しい	90	18.7%
3. 事業を執行する際の三密への配慮等、執行上の負担が増えた	222	46.2%
4. 拠点施設の利用制限等による活動場所の確保が難しい	80	16.6%
5. オンラインやWeb活用のノウハウ不足	59	12.3%
6. メンバー自身の活動自粛等による担い手不足	84	17.5%
7. 地域活動の中止等によるボランティア人材の活動離れ	80	16.6%
8. 交流活動の制限等による担い手の発掘・育成機会の減少	95	19.8%
9. 活動自粛等による組織内のコミュニケーション・連携不足	238	49.5%
10. 関係機関も活動が停滞したため、情報共有や活動の連携が難しい	134	27.9%
11. 外部講師を招くなど、他団体や地域との学び合いの場を持ってない	77	16.0%
12. その他	22	4.6%
13. 無回答	69	14.3%
計	1,487	

〈コロナ禍での町内会活動で起こっている問題について〉



※%は、回答組織数「481」で計算

〈その他（※一部自由記述内容）〉

・「なし」（六戸町）、「無いです」（七戸町）、「特に無し」（十和田市）、「娯楽や観光、スポーツ活動の制限」（十和田市）、「町内会の総会、レクが出来ないので町内交流が地域活動の中止により町内の結束が心配、出来ない。」（三沢市）、「会議等行なっても必要最小限の時間になる。」（三沢市） 等

〈回答数の多い項目〉

- ・「活動自粛等による組織内のコミュニケーション・連携不足」
- ・「意思決定を行う会議などが対面で開催できない」
- ・「事業を執行する際の三密への配慮等、執行上の負担が増えた」

〈回答数の少ない項目〉

- ・「その他」
- ・「オンラインやWeb活用のノウハウ不足」
- ・「外部講師を招くなど、他団体や地域との学び合いの場を持ってない」